

編集後記

読者の先生方、酷暑が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

今回、「超高齢社会の白内障手術」の特集を読み返し、改めて白内障手術がもたらす恩恵の大きさを私たち、手術をする眼科医、外科医に投げかけ思索に耽ってみました。

とにかく、私たち眼科医、広く外科医がメスを置く時期を決断することは、人生の中でも最も難しい選択のひとつではないでしょうか。患者さんを救うことを使命としてきた外科医にとって、その決断には誇りや責任感に加え、ある種のジレンマも伴うと思います。

その理由は、思うように手先が動かなくなったとか、術後合併症が増えた、あるいは一定の年齢をひとつの区切りと考えるときなど、さまざまなものがあると思います。でも、私は外科医としての能力を考えるうえで、手術を継続するか否かの最も大切な判断材料は、「目」であると思っています。

何故かという、これまで、「手はまだ動く。しかし、以前ほどよく見えなくなった」とか、「無影灯をど

れほど明るくしても、細かな部分が見えない」と不安を語る外科医の先生方に、何人も出会ってきました。

また、そのような状況から白内障手術を受けて、視力を取り戻し、さらに手術がパワーアップして、その後も手術を続けている外科医、もちろん眼科医も含め、そのような先生方との出会いも多く経験してきました。これは、他の職業でもいえることだと思います。

もちろん、現役の外科医や眼科医は、超高齢者ではありませんが、高齢の眼科手術医が増えていることも事実です。本特集の原稿を読みながら、私自身も、いつか白内障手術を受ける日が来るのだろうかと思いました(えっ、誰に?)。そして、その後も手術を続けるのか、あるいはどこかで立ち止まるのか。外科医としての自分の将来に、ふと思いを巡らせました。

繰り返し、厳しい猛暑が続いております。どうぞご自愛のうえ、良い夏をお過ごしください。

(門之園一明・記)

編集：後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均・根岸一乃・福地健郎
編集顧問：小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・飯島裕幸・坪田一男・富田剛司

「眼 科」 第68巻 第8号 8月号

2026年8月5日発行(毎月1回5日発行)

定価 3,410 円(本体 3,100 円+税 10%)

年間講読料金

定価 50,820 円(本体 46,200 円+税 10%)

[年間13冊(臨時増刊号を含む)の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

発行所 金原出版株式会社

発行者 前田達也

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03-3811-7165 [編集室直通]

Tel 03-3811-7184 [営業部直通]

Fax 03-3813-0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03-3622-6161

広告申込先 (株)文京メディカル Tel 03-3817-8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・教育機関、医療機関、企業などにおいて本誌を無断で複製すること(コピー、スキャン、デジタルデータ化など)は「私的使用」など著作権法上の限られた例外にはあらず、違法となります。また、限られた例外に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して複製を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(Tel: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- ・本誌をAI(人工知能)分野に関する用途で許諾を得ずに利用する行為は、当社の利益を不当に侵害する可能性があります。必ず事前に当社までお問い合わせください。